

# 米子城跡周辺 ぶらり 散策MAP

古くから商業のまちとして栄えてきた米子市は、便利なアクセス環境から山陰観光の拠点となっています。隣の玄関口である米子駅をスタート地点とし、約2km圏内にある名所や注目のスポットを見つ、ぶらぶらと散策しながら米子のまちを歩いてみると、面白い発見があるかもしれません。

- 城跡までの最短ルート
- 彫刻ロード

- ### アイコンの説明
- ☕ 休憩スポット
  - C カルチャースポット
  - P 駐車場
  - H 宿泊施設
  - T 郵便局
  - 🚌 だんだんバス 発着場所

### 市内循環バス だんだんバス

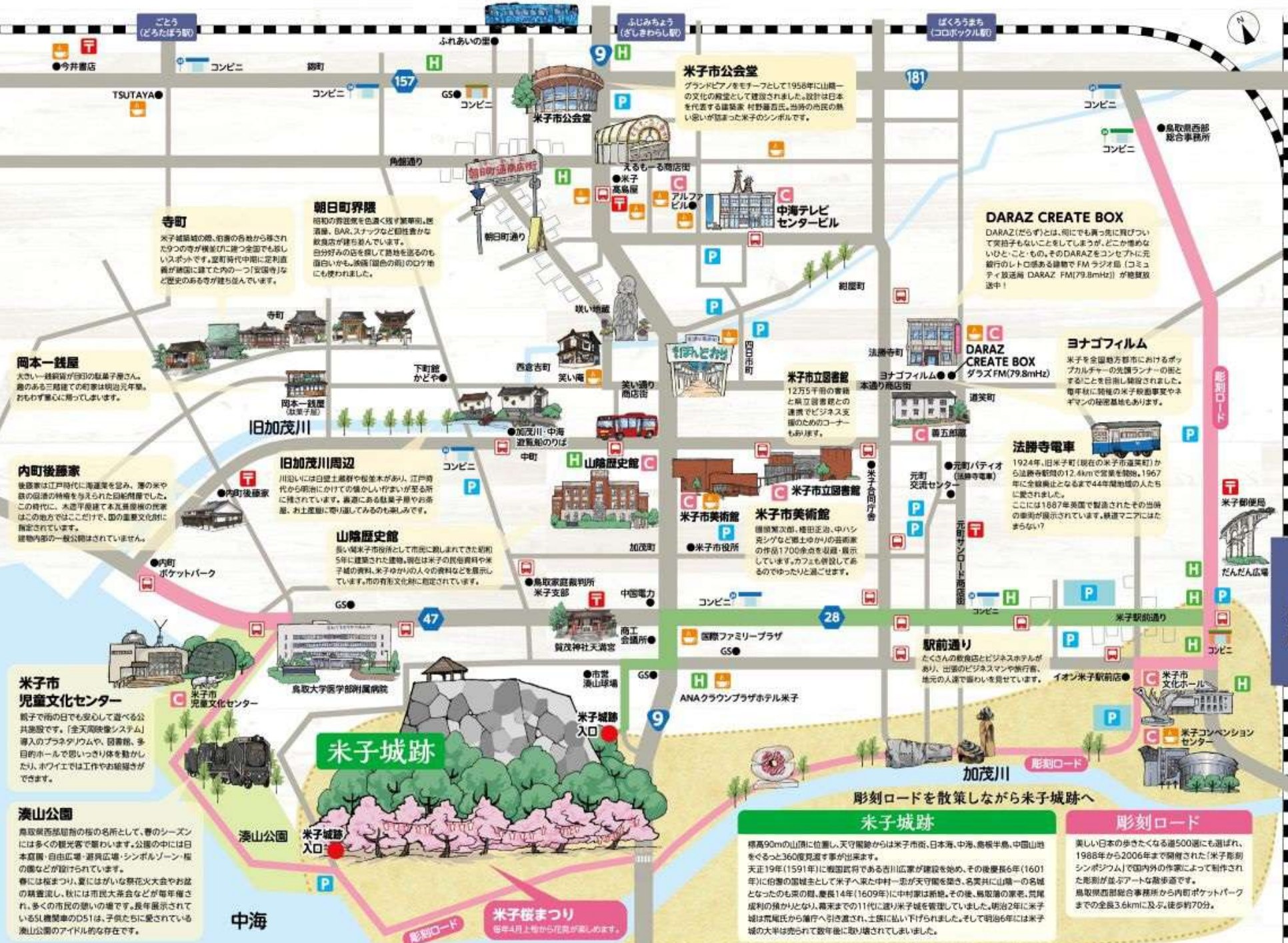
米子駅を始発として市の中心地を周回回線に運行しています。多くに乗り場を有し、利用しやすいです。

1日の利用につき  
中学生以上150円  
小学生100円 小学生未満無料

運行時間  
平日 午前5時55分～午後6時55分まで  
土・日・祝 午前7時～午後6時55分まで

だんだんバス 発着場所

<https://www.city.yamaguchi.jp/dandanbus/>



### 寺町

米子城跡の南、旧藩の倉庫から築かれた9つの寺が横並びに建つ全国でも珍しいスポットです。室町時代中期に足利直義が城跡に建てた内の一「安徳寺」など歴史のある寺が建ち並んでいます。

### 朝日町界隈

昭和の雰囲気を色濃く残す居酒屋、西酒場、BAR、スナックなど個性豊かな飲食店が建ち並んでいます。自分好みの店を探して地味を遊るのも面白い。赤福「国産の餅」のロケ地にも使われました。

### 岡本一銭屋

大きい一銭銭箱が特徴の駄菓子屋さん。趣のある3階建ての町家は明治時代。おもむきで覗いてみてください。

### 内町後藤家

後藤家は江戸時代に海運業を営み、藩の米や鉄の保管の精舎を与えられた旧藩邸でした。この時代に、木造半蔵建て本瓦葺後藤家の邸宅はこの地方ではここだけで、国の重要文化財に指定されています。建物内部の一部公開はされています。

### 米子市 児童文化センター

親子で雨の日でも安心して遊べる公共施設です。「全天候映像システム」導入のプラネタリウムや、図書館、多目的ホールで思いっきり体を動かしたり、ボウイエでは工作やお絵描きができます。

### 湊山公園

鳥取県西部随一の桜の名所として、春のシーズンには多くの観光客で賑わいます。公園の中には日本庭園、自由広場・遊具広場、シンボルゾーン、桜の園などが設けられています。春には桜まつり、夏にはがいな祭花火大会やお盆の精霊流し、秋には市民大茶会などが毎年催され、多くの市民の憩いの場です。長年展示されているSL機関車のD51は、子供たちに愛されている湊山公園のアイドル的な存在です。

### 山陰歴史館

長い編み米子市役所として市に創設された昭和5年に建築された建物。現在は米子の民俗資料や米子城の資料、米子ゆかりの人の資料などを展示しています。市の重要文化財に指定されています。

### 米子城跡

標高90mの山頂に位置し、天守閣跡からは米子市、日本海、中海、鳥取半島、中国山地をぐるぐると360度見渡す事が出来ます。天正19年(1591年)に戦国武将である吉川広家が建設を始め、その後慶長6年(1601年)に伯耆の国城主として米子へ来た中村一忠が天守閣を築き、名実共に山陰一の名城となした。天保の飢饉、慶長14年(1609年)に中村家は新館を築き、鳥取藩の重臣、筑前守の預かりとなり、高米までの11代に渡り米子城を管理していました。明治2年に米子城は荒廃しから撤去され、土壁に払い下げられました。そして明治6年には米子城の大半は売られて数年後に取り壊されてしまいました。

### 米子桜まつり

毎年4月上旬から花見が楽しめます。

### 米子市公会堂

グラウンドピアノをモチーフとして1958年に山陰一の文化の殿堂として建設されました。設計は日本を代表する建築家 村野藤吾氏。当時の市民の熱い思いが詰まった米子のシンボルです。

### 米子市立図書館

12万5千冊の書籍と蔵書と蔵書と蔵書の連携でビジネス支援のためのコーナーも設けられています。

### 米子市美術館

建築家 堀田正治、中ハンティングなど土ゆかりの芸術家の作品1700余点を収蔵・展示しています。カフェも併設されているのでゆったりと過ごせます。

### DARAZ CREATE BOX

DARAZ(だらざ)とは、同じでも真っ先に買いついて実拍子もないことをしてしまおう、どこか懐かしいひとこと、もの。そのDARAZをコンセプトに元銀行のレトロ感ある建物でFMラジオ局(コミュニティ放送局 DARAZ FM(79.8MHz))が絶賛放送中!

### ヨナゴフィルム

米子を全国地方都市におけるポップカルチャーの先陣ランナーの街とすることを目指し建設されました。毎年秋に開催の米子映画祭やネギマンの秘密基地もあります。

### 法勝寺電車

1924年、旧米子町(現在の米子市温泉町)から法勝寺駅間の12.4kmで営業を開始。1967年に全線廃止となるまで44年地域の人のために愛されました。ここには1987年英国で製造されたその当時の車両が展示されています。軌道マニアにはたまらない?

### 駅前通り

たくさんのお店とビジネスホテルがあり、出張のビジネスマンや旅行者、地元の人達で賑わいを見せています。

### 彫刻ロードを散策しながら米子城跡へ

### 米子城跡

標高90mの山頂に位置し、天守閣跡からは米子市、日本海、中海、鳥取半島、中国山地をぐるぐると360度見渡す事が出来ます。天正19年(1591年)に戦国武将である吉川広家が建設を始め、その後慶長6年(1601年)に伯耆の国城主として米子へ来た中村一忠が天守閣を築き、名実共に山陰一の名城となした。天保の飢饉、慶長14年(1609年)に中村家は新館を築き、鳥取藩の重臣、筑前守の預かりとなり、高米までの11代に渡り米子城を管理していました。明治2年に米子城は荒廃しから撤去され、土壁に払い下げられました。そして明治6年には米子城の大半は売られて数年後に取り壊されてしまいました。

### 彫刻ロード

美しい日本の歩きたくなる道500選にも選ばれ、1988年から2006年まで開催された「米子彫刻シンポジウム」で国内外の作家によって制作された彫刻が並ぶアートな散歩道です。鳥取県西部総合事務所から内町ポケットパークまでの全長3.6kmに及ぶ。徒歩約70分。

### 米子駅(ねずみ男駅)

1902年開業の米子駅は山陰線随一の駅であり、山陰本線、伯耆線、境線の3路線が乗り入れています。その中でも丸太駅やねずみ男、様々な駅舎たちがメインにされた列車が走る線路は、全線に歴史的な趣意がつけられ、米子駅は「ねずみ男駅」の別名があります。丸太駅列車が到着する0番ホームは、駅舎にもなった「ねずみ男」の像をはじめ、丸太駅や一反もん等駅舎たちが利用客をお出迎え。ちょっと不思議で面白いの駅の雰囲気をぜひ体験してみてください。車でお越しの方は地下駐車場(有料)をご利用ください。

### このイラストマップのデータはフリーウェアとしてご利用になれます。

制作会社 米子市観光局 0859-23-8211  
販売ソフト Adobe IllustratorCS3 以降  
3Dソフト Blender 2.79  
※本マップの著作権は米子市観光局にあります。